

在 庫 品

◆ (●) ◆

施盤八呎兼用六呎 新品 三台
 デーゼルエンジン 此八馬力(中古品) 一台
 石油發動機(新品) 四馬力より十馬力迄
 モートル各種 新品
 井戸用ポンプ及パイプ
 ヒューガルポンプ及サクシオン
 ホース附各種・ウエス

◆ ● ◆


古 鐵 商 會
 日 滿 商 會

二九口路教林吉華八七八二電

歌 行 流 波 里 多

戰場の
 幼な子


唄・田端義六



一作毎に魅力を増田端の第三作

國 產 界 之 權 威

カクタダ呈




家庭用
 職業用
 工業用

日本ミシン製造株式會社
 プラザミシン代理店
 國產ミシン商會
 總事務所 一〇一番 二八四二

院 醫 科 眼 知

新 京 大 和 通 六 番
 電 三 一 六 六 四 六 番



富 士 自 轉 車

新 京 大 和 通 六 番
 會 商 田 松
 番 八 六 七 四 ② 話 電

[illegible]

くそ来つてるわが千よ、
くも歸らずさす英雲哉。今
またまふであらう。我々
の戲やきを交す遊兒兒女
の戯舞は一刻、この時
兒建とやつて永久に忘
感動の時刻となるであら
う。見れば、刻にして一
紙に包みセーラー服の子
に収める女子がある。こ
いと目と眼こそ千り上
りの正である。棚外に一
普通通學科の中にさし
泣き姿を洩れる、何へ
と感激の面だ。さて
だが、對面を遂げた道で
男女青年團員の扱得で
服影を調へた後、國府前
の風景なり。――、國府前
館を順次是の後四十八
大聖々に分發して、明

へい）といふ各處、

火葬車

醉客の喧嘩仲
これぞ事件の

本社
主催

小八家子見學團

お祈り行つた、参加者と共に
午後四時三十分、本社の門を抜け午後一時四十五分
前には明け信仰に暮れる静かに
蓮華院の境内に入ると、
途中から後部路で交通社や
一匹のまぐわを寄、四個
宛土産、午後四時半開く解屋
した。

午後二時半附分、神父の
案内で男子藝科別聖母型
信會修道院内の見學を行つた。
中には修女をモテルかメラ
向ける者、語るにカメラ
等修道院に時など、男性の香
を漂はせ一時大騒ぎ高く信
子を向け出て、寛城子
をバス六輛に分乘斷断に
金碑を右に見て満映そ
徒を續々と一場に集會書畫の

時局を辨へぬ不埒者

新婚の夢樂しかるべき筈
妻が何故か自ら死んで行

立国
深町醫院の往診を求め

けふ (七日)

全日本中等學校武道戰々績

島中學と對戰惜敗し
に加はり新京健兒の面目

—

高綴
清酒
滿洲櫻
新京櫻屋商店

